

地域のかお シリーズ85

「郷土を愛し 自ら学んで未来を拓き
心豊かでたくましく生き抜く生徒の育成」

～感動 感謝 元気 (K・K・G) の校訓のもとに～



宮崎市立 久峰中学校
校長 外山 宏幸

久峰中学校は、昭和61年4月1日に広瀬中学校から分離独立して開校し、令和3年度は創立36年目を迎えています。

校区内には、広瀬北小と広瀬西小の2つの小学校があります。山や川、海などの豊かな自然に囲まれ、佐土原図書館や久峰公園、JR佐土原駅などの社会施設にも恵まれています。この豊かな教育・生活環境の中で、子どもたちは家族をはじめ、地域の方々の温かい愛情に見守られながら、学び、日々成長しています。

今年度は、1年生が128名、2年生が129名、3年生が144名、全校生徒401名が在籍しています。生徒会活動が盛んで、「夢限大笑 ～掴めその手で夢と笑顔～」の生徒会スローガンのもと、体育大会や学習発表会などの学校行事等に、生徒が主体となって積極的に取り組んでいます。

盛んな部活動

・本校には、14の部活動（スポーツ12・文化2）があります。

男子バレーボール部、女子バレーボール部、男子バスケットボール部、女子バスケットボール部、剣道部、陸上部、サッカー部、軟式野球部、ソフトボール部、サッカー部、男子ソフトテニス部、女子ソフトテニス部、吹奏楽部、美術部

・校外にも5つの競技活動（社会体育）があります。

水泳、柔道、弓道、バドミントン、テニス

先日開催された「第46回宮崎地区中学校秋季体育大会」（中体連）では、団体で女子剣道と女子弓道が優勝し、男子バスケットボールと女子バレーボールが準優勝、男子バレーボールと男子ソフトテニスが第3位。個人では陸上3人とバドミントン1人が第1位に入りました。合わせて6つの部（団体）と23人（個人）が県大会出場を決めるなど、久峰中勢が大いに健闘しました。

「感動 感謝 元気」(K・K・G) の3つの校訓

久峰中学校では、全校生徒が「KKG」の3つの校訓を大切にしながら日々の教育活動を頑張っています。

感動 自己の成長と仲間の成長、学校の発展に感動できる人であれ
(生徒に感動を与える教育を実践しよう)

感謝 身の回りのすべての人に感謝し、それを表現できる人であれ
(教師自らも感謝の気持ちを表現しよう)

元気 元気な表情、元気なあいさつ、元気に行動できる人であれ
(笑顔と励ましの言葉で、元気であられる明るい学校にしよう)

